



# 大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2025年6月4日(水)  
第26巻 第44号

通巻第1118号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail : [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



## 本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世  
唱 和 四つのテスト  
ソング 奉仕の理想  
会長挨拶 会長 石田 英世  
幹事報告 幹事 高野 祐二  
プログラム

1. 奨学金授与式 サジャーニ様
2. 6月誕生日祝い 安原晃一会員
3. 理事会報告

## ニコニコBOX

高野 祐二 幹事

第7グループゴルフコンペ無事終了しました。

ご協力ありがとうございました。

大越 将司 会員

子ども食堂ありがとうございました。  
当日 石田会長、高野幹事、星野会員  
が参加し、良い写真が撮れました。

泉 恵子 会員

第7グループ家族親睦ゴルフ、ニアピン  
ドラゴン頂きました。有難うございました

例会日	5月28日	5月14日
会員数	29	29
出席	15	12
欠席	14	17
M U	0	0
免除	7	9
出席率	762%	72%

## 会長挨拶

石田 英世 会長



みなさん、こんにちは  
先週、クラブ創立25周年式典の記念講演でお世話になった夢グループ石田重廣社長が都内で会見を行い、歌手の橋幸夫（82）さんが中等度のアルツハイマー型認知症を発症していると公表しました。石田社長によると、橋さんは昨夏から物忘れや言葉を繰り返す症状が顕著に出始めたという。

同グループが20周年を迎え、橋さんから

「20周年おめでとうございます」と祝福されたが、数十秒後に同じ言葉を繰り返されたという。

医師から出された診断書には、症状進行抑制として「張りのある生活、社交性維持、筋力維持」が重要で、17歳から芸能活動をしてきたことを鑑みて「芸能活動継続維持が望ましい」という旨が記されていて、石田社長は「橋幸夫さんを守りたい。本人が歌う姿勢があって、本人が嫌じゃない限りは歌ってもらいたい」と全力でサポートすることを誓っていました。

保科有里さんもSNSに橋幸夫の動向を知らせていて、先日も大相撲観戦を知らせていて、テレビ中継で見た方も多いかと思います。

話は変わりますが、26-27年度ガバナー補佐の推薦書がクラブより提出されました。認知症は大丈夫だと思いますが、大網ロータリークラブの皆さんのサポートが全てだと思っていますので、どうかよろしく願い申し上げます。

5/23(金) 第7グループ会員・家族親睦ゴルフ大会 於：ヌーヴェルゴルフ倶楽部



<成績発表/上位10名>

- 1 杉江 敏矢 様 (茂原中央)
- 2 古西 弘和 様 (成田空港南)
- 3 吉川 昌考 様 (大多喜)
- 4 渡邊 正伸 様 (茂原中央)
- 5 平山 修也 様 (東金)
- 6 根本内 鯛 様 (茂原)
- 7 越川 忠 様 (成田空港南)
- 8 加藤 洋三 様
- 9 星野 実 様 (大網)
- 10 緑川 孝一 様 (茂原)



高野幹事

卓話謝礼



卓話風景



「米軍の九十九里浜上陸作戦（コロネット作戦）と郷土」  
【太平洋戦争末期における郷土の防衛と終戦】

今年、太平洋戦争（第二次世界大戦）終結から80年になる節目の年である。第一次世界大戦（1914-19）から僅か20年後に再び悲惨な世界大戦が勃発した。

昭和16（1941）年12月8日、日本軍はハワイの真珠湾（アメリカ太平洋艦隊の主力）を奇襲攻撃、マレー半島沖でイギリス東洋艦隊の主力を撃破し

太平洋を舞台に大国との戦争へと突入した。昭和45年8月、広島と長崎に原子爆弾が投下され、9月2日、日本と連合国との降伏文書調印式が行われ史上空前の大災害、世界大戦は幕を閉じた。

沖縄戦での死者は、日本軍人10万人弱、民間人10万人余り、アメリカ側は1万2000人と推定されている。

戦争末期、米軍の日本本土決戦計・ダウンフォール作戦に「コロネット作戦」があり、そこには九十九里浜上陸作戦（特に片貝）が随所に記されていた。

I 戦争末期における郷土の防衛 <千葉県沿岸に飛行場建設>

- ①香取海軍航空隊 ②横芝飛行場
  - ③豊成（東金）飛行場 ④茂原飛行場（茂原海軍航空隊基地）
  - ⑤館山海軍航空隊・州ノ崎海軍航空隊 ⑥木更津海軍航空隊 その他
- II ダウンフォール作戦＝米軍の戦争末期の日本本土決戦計画（米軍資料）  
日本をどのように降伏させるか！

アメリカの統合参謀本部（1942年2月に設置）  
1945年3月29日 統合参謀本部会議で日本侵攻作戦を決定  
米軍統合参謀本部会議は、日本進攻作戦全体をダウンフォール作戦、九州南部への進攻をオリンピック作戦、関東への上陸をコロネット作戦と命名した。  
※これらの理由として、海上封鎖や爆撃だけでは日本を敗北させることは出来ない、という考えに基づいた作戦であった。

1945年3月作成「関東平野における兵力輸送能力調査」  
・鹿島灘、九十九里浜、茅ヶ崎（神奈川県）へ上陸するルート分析九十九里浜内陸部の水田は土質が砂質のため、乾燥期であれば横断が可能。  
・4月の統合計画参謀会議は、「ノルマンディー作戦の2倍の規模」で九十九里浜海岸に、ついで相模湾（神奈川県）に上陸するという計画であった。相模湾は、九十九里上陸の10日後、兵員の規模は九十九里浜を大きく上回るものであった。  
1945年5月「関東平野進攻作戦計画概要」が決定される。

- ・攻撃開始日は、1946年3月1日と想定
  - ・片貝・銚子付近に上陸し、西・南西に向け進軍。10日後に相模湾へ上陸、北に進撃するというものであった。
  - ・主要上陸地点は相模湾で、補助的に片貝・銚子に上陸する、とした。
  - ・片貝上陸の利点として、「房総半島の孤立化」、東京湾防衛施設を排除できる。
- 付近に「飛行場」が5つある。地形が非常に軍事作戦に適している。11月～3月。  
また、欠点としては海岸が長く平坦で高潮と強風にさらされる。近くに港湾施設がない。海岸に沿って水田がある。銚子付近の上陸には利点3点、欠点6点がある。日本軍の主要部隊を撃破できなく早期制圧ができなくなる、とした。

作戦の具体策  
・上陸開始日から1ヵ月後に約66万人。4ヵ月後に100万人を超える兵力を投入。特に九十九里浜上陸の重要な作戦は、飛行場の制圧であった。片貝に六個師団、飯岡（現旭市）に二個師団を上陸させる。  
・連合軍（米軍中心）は、日本軍の防衛体制として、「太平洋地域での経験から、日本軍はおそらく海岸で一挙に防衛戦をしかけることはないものと思われるこれは、空軍による事前の爆撃が効いているためである。」とみていた。

- その他、米軍の日本無差別爆撃攻撃
- 銚子市空襲 1945年3月9、10日 7月19日、20日、8月1、2日
  - 千葉市空襲 1945年6月10日（日立航空機株式会社千葉工場目標）  
1945年7月7日（七夕空襲）市街7割焼失。死者1595人
  - 東京大空襲 1945年3月9～10日 焼夷弾により10万人焼死  
焼失戸数30万戸（B29=300機による）
  - ドイツ無条件降伏 1945年5月8日（4月、ヒトラー自殺）
  - 原子爆弾実験・成功 1945年7月16日
  - ポツダム会談 1945年7月17日～8月2日  
（ポツダム宣言発表：米・英・ソ）7月26日
  - 広島・長崎原爆投下 1945年8月6日（広島）、8月9日（長崎）
  - ポツダム宣言受諾 1945年8月14日、翌15日に公表
  - 1945年9月2日 米戦艦ミズーリ号の甲板上で降伏文書調印式  
署名：日本政府代表の重光葵外相

戦後「キャンプ片貝」「米軍高射砲演習場」の基地建設、訓練  
1948年（昭和23）4月9日から1957年（昭和32）5月まで